

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	栽培漁業推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	256	256		256			256	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他					256	256	256
	一般財源	256	256		256		▲ 256	▲ 256

事業概要	美保湾地域における栽培漁業の推進のため、鳥取・島根両県の漁業者、行政で連携し諸問題について協議を行う。平成25年度まで試験的に実施していた「ヒラメの放流」を平成26年度から本格実施。平成27年度以降も継続して実施する。	今年度見直し事項	
事業目的	美保湾地域における栽培漁業の推進に関する事項等を協議して栽培漁業の定着化を促進し、美保湾地域における漁業生産の安定向上を図る。		
現状と背景	本格実施となった平成26年度は3万尾の放流を行い、全国的にも優秀な10%を超える回収率を残した。この結果を受け、平成27年度からは国の交付金(広域種資源造成型栽培漁業推進事業)を活用し、放流尾数を6万尾に増やして実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	魚食普及推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	310	310		310			310	
財源内訳	国							
	県	155		155			155	
	市債							
	その他							
一般財源	155	310		155			155	

事業概要	各種イベントにて、かに汁、いわしつみれ汁等のふるまいを実施。	今年度 見直し 事項	
事業目的	魚食イベントによる魚食の普及と水産物消費拡大を図る。		
現状と背景	食生活、食文化の変化による魚食離れが著しいため、集客力のあるイベントを利用して魚食の普及を推進する。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	漁業金融対策事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	10,000	10,000		10,000			10,000	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	10,000		10,000			10,000	
一般財源		10,000						

事業概要	市内漁業者への円滑な融資を図るための鳥取県信用漁業協同組合連合会への預託金	今年度見直し事項	
事業目的	市内漁業者への融資の円滑化を図る。		
現状と背景	水産業を取り巻く環境は資源の減少、魚価安、燃油高騰等の影響により大変厳しいため、円滑な融資が行われるよう支援する。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	船員災害防止事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	50	50		50			50	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	50	50		50		50	

事業概要	海難及び船上での事故防止のため船員災害防止協会が実施する船員災害防止活動を支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	境港の基幹産業である水産業において船主、船員の安全意識を高揚させ船員事故、疾病等を予防し、水産業の安定的な発展を目的とする。		
現状と背景	漁船員の高齢化をはじめ、資源減少による操業時間の長時間化により集中力が切れるなどして災害が生まれやすい状況となっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	境港水産振興協会漁業情報サービス部補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	120	120		120			120	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	120	120		120			120

事業概要	漁業情報提供、統計業務を実施する(一社)境港水産振興協会漁業情報サービス部へ補助を行う。	今年度見直し事項	
事業目的	漁業情報サービスセンターの協力を得て、境港水産業を中心に漁業情報提供、統計業務を実施する。		
現状と背景	水産関係機関を中心に漁獲日報、月報及び年報等の情報をいち早く提供する。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	地域漁海況情報サービス事業負担金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	320	320		320			320	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	320	320		320			320

事業概要	全国に4箇所しかない漁業情報サービスセンター出張所の維持のための負担金。	今年度見直し事項
事業目的	中西部日本海域での魚海況情報等のデータ提供により漁獲量の安定と効率的な漁獲が可能。	
現状と背景	日本海中西部海域でのほぼ10日先の魚海況短期予報を水産関係機関を中心に提供する。 漁業情報サービスセンターの出張所は道東出張所、東北出張所、境港出張所、九州出張所の4箇所に設置されている。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	境港水産まつり補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	650	650		650			650	
財源内訳	国							
	県	325		325			325	
	市債							
	一般財源	325	650	325			325	

事業概要	境港における水産業界最大のイベント「境港水産まつり」への支援。	今年度見直し事項	
事業目的	境港水産業界の持続的な発展を念願し、消費者へ水産物に対する理解を深めてもらう。		
現状と背景	10月に行われる境港水産まつりは境港における水産業界最大のイベントであり、県内外から多数の参加者が訪れる。水産物、魚食のPR推進に多大な影響を与えている。 平成27年度の来場者数は約4万5千人。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	漁業緊急保証対策事業補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	668	291		291			291	▲ 377
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	668	291		291		291	▲ 377

事業概要	鳥取県は景気の悪化、燃油・資材の高騰や魚価安等の影響から資金繰りに窮している中小漁業者等の資金繰りを円滑にするために、国が実施する「漁業緊急保証対策事業」に合致した制度資金の創設と利子補給を行っている。 境港市としても円滑な融資が行なわれるよう、融資の際に必要な保証料の一部助成を実施する。	今年度見直し事項
事業目的	景気の悪化、燃油・資材の高騰や魚価安等の影響から資金繰りに窮している中小漁業者等の資金繰りの円滑化を目的として、漁業経営財務基盤強化緊急対策資金を利用する漁業者への保証料の一部助成を行う。	
現状と背景	景気の悪化、燃油・資材の高騰や魚価安等の影響から資金繰りに窮しているが、現在ある制度資金は利用しにくい。 そこで国・県・市が連携して、利用しやすい新資金を創設し、漁業者は低利で無担保、保証料も低利な融資を受けることにより経営基盤を安定化することができる。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	境港地域資源活用推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	650	650		650			650	
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他					650	650	650
	一般財源	650	650		650		▲ 650	▲ 650

事業概要	境港産クロマグロの知名度向上、販売拡大を図ることを目的として地域関係者で組織する「境港天然本マグロPR推進協議会」が取組むPR活動などクロマグロの付加価値向上に対する取り組みへの支援。	今年度見直し事項	
事業目的	クロマグロは水揚げの減少する夏場に水揚げされ境港水産界において重要な魚種である。この境港産クロマグロと競合する蓄養生マグロ、冷凍マグロとの差別化による境港産クロマグロの知名度向上、販路拡大を目的とする。また、まき網漁業が行っている資源管理の現状を正しく理解してもらうためのシンポジウムを開催するとともに、漁獲規制に伴う漁獲量減少に対応するため、量から質に転換するクロマグロの付加価値向上に取り組む。		
現状と背景	境港産クロマグロは夏季の国内市場における重要な位置を占めており、市場での蓄養マグロの増大の中で「天然、生、資源管理」で境港産クロマグロのPRを行い、クロマグロを境港市の地域観光資源として活用するため、平成23年度から「まぐろ感謝祭」を開催している。	その他	平成25年12月6日に開催された、太平洋クロマグロの漁業ルールを決める国際機関「中西部太平洋まぐろ類委員会」(WCPFC)において、未成魚(3歳以下、メジマグロ)の平成26年の漁獲量を、平成14年～16年の平均漁獲量に比べて15%以上削減する漁獲規制が実施されることとなった。

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	漁船災害復旧対策資金利子補給金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	52	43		43			43	▲ 9
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	52	43		43		43	▲ 9

事業概要	平成22年12月31日から平成23年1月1日かけての記録的な集中豪雪により被害を受けた漁業者が、借り入れた漁業経営財務基盤強化緊急対策資金への利子補給。	今年度見直し事項
事業目的	記録的な豪雪により被害を受けた漁業者に対して漁業経営財務基盤強化緊急対策資金の利子補給を行い、負担の軽減を図る。	
現状と背景	被害を受けた漁業者の中には漁船の修復経費等に多額の経費がかかる漁業者も多い。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	境港お魚ガイド活動支援事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,064	5,064		5,064			5,064	
財源内訳	国							
	県	2,532	2,531	2,531			2,531	▲ 1
	市債							
	その他					2,533	2,533	2,533
一般財源	2,532	2,533		2,533		▲ 2,533		▲ 2,532

事業概要	日本海側拠点港である境漁港とそこで水揚げされる豊富で新鮮な魚介類を地域・観光資源の一つととらえ、お魚ガイドによる境漁港見学ツアー及び各種魚食普及活動、水産業PRの担い手育成等を行う団体への支援。	今年度見直し事項	
事業目的	境漁港見学ツアー、各種魚食普及活動、市場情報発信、水産業PRの担い手育成等を実施により、産地境港の知名度向上ならびに水産物の消費拡大を図る。		
現状と背景	境漁港見学ツアー、担い手育成事業は平成21年度から、市場情報発信事業は平成22年度からふるさと雇用再生特別交付金を活用し事業開始。それぞれの事業を一本化し、平成24年度から「境港お魚ガイド活動支援事業」を実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	フィッシュ・キッチン推進事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	234	189		187			187	▲ 47
財源内訳	国							
	県	108		84			84	▲ 24
	市債							
	その他	126	18	18			18	▲ 108
一般財源		171		85			85	85

事業概要	<p>保育園(所)・幼稚園の年長児を対象とした「フィッシュ・キッチン」、小学生を対象とした「出前フィッシュ・キッチン」など、鮮魚をさばき「命」に触れる体験を行い、幅広い世代に魚食の大切さを伝える。</p>	今年度見直し事項
事業目的	<p>「フィッシュ・キッチン」を通して、鮮魚をさばき「命」に触れる体験を行い、魚食の大切さを伝え、魚離れに歯止めをかける。</p>	
現状と背景	<p>平成21年度から、小学生以下を対象に「親子おさかな教室」を開催(4回/年)し、学習と料理を組み合わせることで、効果的に目的を達成することができた。平成25年度から、新たに保育園(所)・幼稚園で行う「フィッシュ・キッチン」を中心として、幅広い世代に魚食の大切さを伝える。</p>	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	水産加工品ブランド化事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		2,177		1,413	764	▲ 289	1,888	1,888
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他					1,888	1,888	1,888
一般財源		2,177		1,413	764	▲ 2,177		

事業概要	平成24年度に設立された「境港市産地協議会」への補助金。 「産地境港」を全国情報発信するため、首都圏・関西方面を中心としたイベントに参加し、境港の水産物や水産加工大賞の商品のPR、ポスター・冊子などの作成、「みんなで選ぶ境港の水産加工大賞」の開催などを行う。 また、境漁港の衛生管理型漁港・市場整備に伴い、先進地視察調査なども実施する。	今年度見直し事項
事業目的	「産地境港」を広く全国情報発信するため及び消費者等のニーズにあった新しい漁港の整備について検討する。	
現状と背景	水産庁の産地水産業強化支援事業の交付先として、平成24年度に「境港市産地協議会」を設立。汚水処理施設の改修工事、水産加工大賞の商品のPRによる「産地境港」を全国情報発信した。 平成27年度からは、水産庁の交付金はなくなるが、鳥取県が産地境港のPR及び先進地視察調査の実施に対し、対象経費の補助を行っている。	その他

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	財政課
事業名	境港水産加工汚水処理場整備基金積立金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	5,000	4,005		4,005		▲ 4,005		▲ 5,000
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他	5,000	5	4,005		▲ 4,005		▲ 5,000
一般財源		4,000						

事業概要	境港水産加工汚水処理場整備基金条例に基づき、(一社)境港水産加工汚水処理公社からの寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を積み立てるもの。	今年度見直し事項	
事業目的	(一社)境港水産加工汚水処理公社からの寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を「境港水産加工汚水処理場整備基金」に積立て、有効活用を図るため。		
現状と背景	境港水産加工汚水処理場の改良、修繕等の財源を確保するため、「境港水産加工汚水処理場整備基金」を設立し、(一社)境港水産加工汚水処理公社からの寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を積み立てる。	その他	

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	水産多面的機能発揮対策事業費負担金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		127		127			127	127
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源		127		127		127	127

事業概要	藻場・水辺の保全、食害生物の除去などによる環境・生態系の保全などの活動を行う漁業者に対し、国及び地方(県・市町村)が費用負担することで支援する。	今年度見直し事項	
事業目的	環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する海域の活動を支援するため。		
現状と背景	世界レベルでの環境汚染、環境破壊、乱獲などにより、海の環境や生態系にも大きな影響が生じている。 鳥取県内でも当該事業を活用した藻場造成・海岸清掃等を平成25年度から始めている。これまでは、国が1/2負担していたが、藻場保全及び海浜海上清掃については、地方の財政負担がないと国の補助が受けられない制度となった。	その他	補助メニューは、藻場保全、海浜海上清掃、国境警備、海難救助訓練、教育啓発があり、このうち、藻場保全と海浜海上清掃が地方負担が補助要件となった。境港は、藻場保全を実施している。

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	魚体選別機(セクター)利用促進補助金
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		614				614	614	614
財源内訳	国							
	県							
	市債							
	その他					614	614	614
	一般財源		614					

事業概要	魚体選別機(セクター)利用者使用料の一部を市が負担することで、利用促進を図る。 現在の使用料は、漁獲物1kgにつき10円であるが、県と市が1円ずつ負担し、8円に減額する。 市は荷受業者に負担金を支払う。	今年度見直し事項	
事業目的	利用者使用料の減額を行うことにより、利用率を向上させるため。		
現状と背景	平成23年12月に鳥取県が魚体選別機(セクター)の導入後、選別を必要としない魚種やサイズの水揚げが多くなり、利用率が低下している。	その他	現在:利用者である漁業者が10円を荷受業者(稼働者)に払い、荷受業者は手数料7円を除く、3円を市場管理(県)に支払っている。

会計	10	一般会計
款	6	農林水産業費
項	3	水産業費
目	2	水産業振興費

所管課	水産課
事業名	漁業就業者確保対策事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		27,772		26,013			26,013	26,013
財源内訳	国							
	県		23,591	22,402			22,402	22,402
	市債							
	その他					3,611	3,611	3,611
	一般財源		4,181		3,611		▲ 3,611	

事業概要	平成27年度まで漁業の研修事業である「漁業就業チャレンジ体験トライアル」「漁業雇用促進対策事業」「漁業担い手育成研修事業」を一本化する。この事業の中に、雇用型研修(1年以内)と独立型研修(3年以内)の2部門を設け、自由度の高いより実践的な研修計画に対応する。	今年度見直し事項
事業目的	新規就業希望者に漁業技術や経営方法等を習得するための研修を行う漁協等に対して、研修に必要な経費を助成することにより、漁船員等の円滑な確保及び漁業への新規参入の促進を図る。	
現状と背景	漁業の担い手は年々減少しており、大きな課題となっている。県全体の問題として、平成27年度まで鳥取県の研修事業として「漁業就業チャレンジ体験トライアル」「漁業雇用促進対策事業」「漁業担い手育成研修事業」がそれぞれ事業としてあり、市もその事業を受け事業費の一部を負担している。	その他